

### 中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 生体内レドックス反応を制御するナノメディシンの創出

2. 研究代表者： 丸島 愛樹（筑波大学 医学医療系 准教授）

3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本研究課題は、細胞内レドックス反応を、選択的かつ効果的に作用できるレドックスナノ粒子を開発し、虚血性疾患や炎症性疾患など酸化ストレス関連疾患を抑制できる新たな治療法の探索とその作用機序の解明を目指すものである。フェーズ1では、脳虚血再灌流に関して、レドックスナノ粒子の効果を大動物で確認するなど、当初計画を着実に達成した。フェーズ2では、レドックスナノ粒子の作用機序の深掘り、社会実装につながる成果の創出を期待する。

以上